

【科目名】	臨床運動学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2学年 作業療法学科			
【時間数】	45 時間 (2時間 23回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業内容・目標	①運動力学・生体力学の基礎知識と動作への解釈 ②正常動作の生体力学的メカニズムとその解釈 ③疾患特有の姿勢・動作と病態・障害像との関係 ④疾患・障害動作分析のチェックポイント について学習をする。						
前提知識	基礎運動学で学んだ知識						
【実施形態】	講義(○)		演習(○)		実習()		
到達目標	授業内容・目標の①～④を通して主な疾患・障害の姿勢・動作分析とその記述が行えるようになる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100%				
	実施時期		18回 23回				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月3日	1	基礎運動学の復習	授業の進め方・学習方法等について	櫻井
4月17日	2	肩関節の臨床運動学①	解剖の復習、烏口肩峰アーチ、AHI、インピンジメント症候群、腱板断裂	櫻井
4月17日	3	肩関節の臨床運動学②	理学所見(インピンジメントテスト)、プログラムの立案と治療の考え方	櫻井
4月18日	4	肘関節の臨床運動学①	腕神経叢の理解と腕神経叢損傷の評価	櫻井
4月21日	5	肘関節の臨床運動学②	解剖の復習、靭帯の不安定性の検査、神経障害の検査(橈骨・正中・尺骨)	櫻井
4月25日	6	手関節の臨床運動学①	解剖の復習、手根管症候群、手のZONE分類、末梢神経障害の理解と検査	櫻井
4月28日	7	手関節の臨床運動学②	頸髄損傷における腱作用(テノデーシスアクション)の日常生活での活用、前骨間神経麻痺、後骨間神経麻痺	櫻井
5月11日	8	股関節の臨床運動学①	解剖の復習、変形性股関節症、臼蓋形成不全(骨硬化・骨棘・骨嚢胞)	櫻井
5月11日	9	股関節の臨床運動学②	股関節外転筋力の低下(Trendelenburg徴候・Duchenne徴候)、トーマステスト	櫻井
5月18日	10	膝関節の臨床運動学①	解剖の復習、膝関節形態の異常(変形性膝関節症)、lateral thrusutとは?	櫻井
5月23日	11	膝関節の臨床運動学②	膝内側側副靭帯損傷、前十字靭帯不全膝、膝関節運動と後十字靭帯の緊張	櫻井
5月26日	12	足部の臨床運動学①	解剖の復習、足のアーチを作る筋、ウィンドランス・トラス機構	櫻井
5月30日	13	足部の臨床運動学②	足部の変形、足根管症候群、足関節内反捻挫	櫻井
6月5日	14	頭部・顔面の臨床運動学	解剖の復習、顎関節の理解、顎関節症、咀嚼と開口障害の評価、顔面神経麻痺の評価	櫻井
6月12日	15	胸部と脊柱の臨床運動学	胸部と脊柱の変形、スパイログラム、呼吸リズムとその異常(異常呼吸と病的呼吸)	櫻井
6月12日	16	標準的姿勢のアライメント	脊柱の彎曲による姿勢の分類、骨盤前傾姿勢、骨盤後傾姿勢、側弯症	櫻井
6月19日	17	歩行	歩行周期、歩行率(ケイデンス)・床反力・歩行中の筋活動	櫻井
6月19日	18	1～17回までのまとめと評価(70点分)		櫻井
6月26日	19	姿勢分析① ※試験対策	分節の理解	櫻井
6月26日	20	姿勢分析② ※試験対策	支持基底面と重心の理解	櫻井
7月11日	21	動作分析① ※試験対策	起き上がりの動作分析	櫻井
7月18日	22	動作分析② ※試験対策	立ち上がり・着座(移乗動作)の動作分析	櫻井
7月24日	23	総復習	授業のまとめ	櫻井
7月31日	24	19～22回までのまとめと評価(30点分)		櫻井
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第4版 (15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学)			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	内科学 I	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	吉田 望(理学療法士):医療機関にて27年実務経験 櫻井 直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科、作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00~10:30(他時間割参照)			
授業内容・目標	一般的な内科学に関する疾患についてその病態や成り立ち、治療法を理解する。 理学療法・作業療法を実施する上でのリスクを理解する。						
前提知識	内臓学に関する解剖・生理学の1年次の知識を再確認すること。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	内科疾患の基礎を理解できる。 病気の成因や病態を理解できる。 治療法やリスクを理解できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	90				
	実施時期		15回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月6日	1	解剖・生理のおさらい	心臓の解剖と生理	吉田望
4月20日	2	心不全	右心不全・左心不全	吉田望
4月27日	3	虚血性心疾患	狭心症・心筋梗塞	吉田望
5月11日	4	伝導系異常	心房細動・粗動、期外収縮、房室ブロック、(心電図含む)	吉田望
5月18日	5	先天性心疾患 心筋症・心弁膜症	心室中隔欠損、心房中隔欠損、ファロー4徴	吉田望
5月25日	6	血管疾患	大動脈瘤 末梢循環障害(ASO、パージャージャー病、レイノー病、下肢静脈瘤)	吉田望
6月1日	7	解剖・生理のおさらい	肺の解剖と生理 呼吸機能評価・スパイロメーター 呼吸音	吉田望
6月8日	8	呼吸不全	閉塞性換気障害・拘束性換気障害 低酸素血症 息切れの分類	吉田望
6月15日	9	各種肺疾患	COPD 肺線維症 びまん性気管支炎 気管支拡張症 気管支喘息 気胸 肺性心 肺結核	吉田望
6月22日	10	各種肺疾患	COPD 肺線維症 びまん性気管支炎 気管支拡張症 気管支喘息 気胸 肺性心 肺結核	吉田望
6月29日	11	内分泌の基礎	内分泌の仕組み ホルモンの作用	吉田望
7月6日	12	内分泌疾患各論	クッシング病 尿崩症 パセー病 クレチン病 橋本病 褐色細胞腫 アジソン病 など	吉田望
7月13日	13	自己免疫とは	自己免疫の働き アレルギーとは	吉田望
7月20日	14	自己免疫疾患各論	全身性エリテマトーデス 多発性筋炎 強皮症 結節性多発動脈炎	吉田望
7月27日	15	自己免疫疾患各論	リウマチ熱 シューグレン症候群 ペーチェット病 強直性脊椎炎	吉田望
		まとめと確認		吉田望
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野 内科学			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	整形外科 I	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	木幡博人(理学療法士):医療機関にて18年実務経験 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科、作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	10:40 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	整形外科分野の知識について理解する						
前提知識	解剖学・運動学・生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状及び特徴を説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		○				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月6日	1	整形外科疾患の画像について	オリエンテーション X-ray, MRIの診かたについて	木幡
4月13日	2	下肢の骨折	代表的な下肢骨折の病態、発生機序・分類、治療	木幡
4月20日	3	大腿骨頸部骨折と人工関節置換術	大腿骨頸部骨折の病態、病期、治療 人工関節置換術と脱臼について	木幡
4月27日	4	大腿骨頸部骨折と人工関節置換術	人工関節置換術後のADLについて	木幡
5月11日	5	変形性関節症	変形性関節症の病態	木幡
5月18日	6	変形性股関節症	変形性股関節症の病態、病期、治療	木幡
5月25日	7	変形性膝関節症	変形性膝関節症の病態、病期、治療	木幡
6月1日	8	整形外科疾患におけるリスク管理(手術合併症)	静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症)	木幡
6月8日	9	スポーツ外傷(靭帯)	スポーツ外傷(靭帯損傷)の病態、病期、治療 RICE処置	木幡
6月15日	10	スポーツ外傷(半月板)	スポーツ外傷(半月板損傷)の病態、病期、治療 RICE処置	木幡
6月22日	11	骨粗鬆症	骨粗鬆症の成因、原発性と続発性、評価と治療、その他の低骨量の疾患	木幡
6月29日	12	腰痛症(腰椎ヘルニア、脊柱管狭窄症)	腰痛を引き起こす疾患、病態、病期、腰痛の評価、治療	木幡
7月6日	13	側弯症	側弯症の病態、病期、評価、治療	木幡
7月13日	14	骨壊死・骨端症	特発性骨壊死と続発性骨壊死、骨端症の分類	木幡
7月20日	15	四肢循環障害	深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、バージャー病、閉塞性動脈硬化症、他	木幡
7月28日		まとめと評価(期末)	整形外科領域の基礎知識の確認。疾患の特徴、検査、治療の理解について	
教科書 参考書	標準整形外科(医学書院) 病気が見える 運動器			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	臨床神経学 I	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	石島 孝樹			
【講義期間】	2年次前期 令和5年4月7日～		【対象学生】	第 2学年 理学療法学科 名 作業療法学科 名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)ほか期末試験 金曜日		【時間帯】	10 : 40 ~ 12 : 10			
授業内容・目標	神経症候・神経学的所見について学び、その臨床的意義を理解する。また、神経・筋疾患に関する知識を獲得する。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖生理学の基礎知識。リハビリテーション分野における評価診断学の基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	神経症候・神経学的所見に関する臨床的意義を説明できる。神経・筋疾患に関する知識を理解し、疾患特性について説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月14日	1	中枢神経系の解剖と機能(1)	神経系の構成、神経の発達と加齢、中枢神経の構造	石島
4月14日	2	中枢神経系の解剖と機能(2)	中枢神経を囲む構造と髄液、中枢神経系の機能、末梢神経、神経の再生と可逆性	石島
4月21日	3	脳血管障害(1)	脳血管障害の概要、脳血管障害の症状と分類	石島
4月21日	4	脳血管障害(2)	頭蓋内出血(脳出血、くも膜下出血)、脳梗塞(脳血栓、脳塞栓)	石島
5月12日	5	脳血管障害(3)	特異な臨床像を呈する脳血管障害、脳血管障害の診断と治療	石島
5月26日	6	脳血管障害(4)	神経学的診断と評価(神経学的診断の実際、体幹・四肢の診療と検査)	石島
6月2日	7	神経症候学(1)	意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神	石島
6月9日	8	神経症候学(2)	運動麻痺、錐体路徴候、筋萎縮(運動麻痺と錐体路徴候、筋萎縮)	石島
6月16日	9	神経症候学(3)	錐体外路徴候、不随意運動、運動失調	石島
6月23日	10	神経症候学(4)	感覚障害(感覚障害の分布と特徴)	石島
6月30日	11	神経症候学(5)	高次脳機能障害総論(失語症)	石島
7月7日	12	神経心理学(1)	失認(失認の概念と分類)、失行(失行の概念と分類)	石島
7月14日	13	神経心理学(2)	記憶障害、遂行(実行)機能障害	石島
7月21日	14	神経心理学(3)	遂行(実行)機能障害、構音障害、嚥下障害	石島
8月4日	15	神経心理学(4)	意識障害(診察、問診、神経学的診察)	石島
7月29日		まとめと確認		科目担当
教科書 参考書	標準理学療法学作業療法学「神経内科学」医学書院 ベッドサイドの神経の診かた(最新版) 南山堂			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				

【科目名】	精神医学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	森川 教子			
【講義期間】	2年次前期 令和5年5月9日～		【対象学生】	第2学年 理学療法学科 名 作業療法学科 名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)ほか期末試験		【時間帯】	9:00～10:30 10:40～12:10 13:50～15:20 15:30～17:00			
授業内容・目標	①精神機能の障害と精神症状を理解する ②精神疾患を理解する ③精神障害者の支援を理解する						
前提知識	中枢神経系に関する解剖学・生理学に関する基礎知識。内臓機能系に関する解剖学・生理学に関する基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	精神機能を生体としての障害像を説明できる。 各精神疾患の発生機序及び病態を理解し障害像・予後の説明ができる。 にあった支援を理解し説明できる。			障害			
成績評価 基準と方法	配分(%)	意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	実施時期		100				
	補足		当科目終了時				
	関心・意欲		障害像など				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
5月9日	1	精神医学とは 脳科学と精神医学	精神医学を学ぶ意味・精神障害にかかわる概念 精神医学の歴史精神障害は脳の病であり、治療も脳に働きかける	森川
5月9日	2	精神機能とその異常①	意識・知覚・記憶・見当識・睡眠・知能	森川
5月10日	3	精神機能とその異常②	言語・思考・感情・意志、欲動、行動、精神運動・自我意識・人格	森川
5月10日	4	神経症性障害	不安症・強迫症・解離症・身体症状症	森川
5月30日	5	パーソナリティ障害と行動異常	反社会性パーソナリティ障害・回避性パーソナリティ障害境界性 パーソナリティ障害・自己愛性パーソナリティ障害・強迫性パーソナリティ障害 統合失調型パーソナリティ障害	森川
5月30日	6	統合失調症	妄想・幻覚・陽性症状・陰性症状・破瓜型・緊張型・妄想型	森川
5月31日	7	うつ病と双極性障害	うつ病・双極Ⅰ型障害・双極Ⅱ型障害	森川
5月31日	8	発達障害(神経発達障害群) 摂食障害	知的能力障害・自閉スペクトラム症・ADHD・限局性学習障害 発達性協調性運動障害・神経性無食欲症・神経性大食症	森川
6月20日	9	認知症	Alzheimer病・軽度認知障害・Lewy小体型認知症・前頭側頭型認知症 血管性認知症・プリオン病	森川
6月20日	10	症状性を含む気質性精神障害	器質性精神障害・症状性精神障害	森川
6月21日	11	睡眠-覚醒障害	ナルコレプシー・概日リズム睡眠-覚醒障害群・睡眠時随伴症群 睡眠関連運動障害群	森川
6月21日	12	てんかん①	てんかん発作(全般性発作・部分発作)	森川
7月6日	13	てんかん②	West症候群・Lennox-Gastaut症候群・てんかん重畳状態	森川
7月6日	14	精神作用物質使用に伴う精神および行動の障害	アルコール依存症・アヘン・精神刺激薬・揮発性溶剤	森川
7月7日	15	薬物療法・精神療法・身体療法	抗精神病薬・抗うつ薬・気分安定薬・抗不安薬・抗てんかん薬・睡眠薬 抗認知症薬・電気けいれん療法・認知行動療法・行動療法	森川
教科書 参考書	標準精神医学 尾崎紀夫ほか 医学書院			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	小児科学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	大沼 晃			
【講義期間】	2年次前期 令和5年4月5日～		【対象学生】	第2学年 理学療法学科 名 作業療法学科 名			
【時間数】	30時間(3時間 10回)ほか期末試験 水曜日		【時間帯】	13:55～16:10			
授業内容・目標	胎芽期、胎児期を含む小児期の分類、新生児期の異常、特に乳児期を中心とした神経発達の正常と異常の見方、小児期の神経筋疾患、小児てんかんの診断と治療、セラピストに必要な小児慢性疾患の知識、最近高度化の目立つ重症心身障害児の医療的アプローチ等について小児リハに不可欠な知識を得る。						
前提知識	神経系の発生学、解剖学的知識。末梢神経や筋肉の解剖学的・生理学的知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標							
成績評価基準と方法	配分(%)	意欲・態度 20%	筆記試験 80%	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	実施時期	講義時	7月				
	補足	質疑応答					
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月12日	1	小児科学概論、新生児学	①小児期の分類、発達する小児の特性等。②新生児の特性、後遺症を残す新生児疾患。	
4月26日	2	発達神経学	特に乳児期の発達についての理論、正常発達と異常発達の診断の実際。	
5月10日	3	障害児医学	障害の発生時期を先天性、周産期、後天性に分類し、それぞれの疾患について解説。	
5月17日	4	神経筋疾患・脊髄疾患	筋線維についての組織学的、生理学的事項。神経筋疾患・脊髄疾患各論。	
5月24日	5	てんかん	てんかんの定義、分類、治療。	
5月31日	6	呼吸器疾患・循環器疾患	①小児によく見られる呼吸器疾患 ②先天性心疾患、後天性心疾患の病態。	
6月7日	7	感染症・アレルギー疾患	①小児によく見られるウイルス感染、細菌感染を中心に解説。②アレルギー疾患の総説と小児によくみられるアレルギー疾患。	
6月21日	8	血液疾患・内分泌疾患	小児期によくみられる血液疾患、および内分泌疾患について概説。	
6月28日	9	消化器疾患・腎疾患	①小児期に特有な消化器疾患 ②腎臓の生理学的事項及び小児期慢性腎疾患	
7月5日	10	重症心身障害児	重症心身障害の定義およびその合併症対策。	
7月19日	11	筆記試験		
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書参考書	標準理学療法学・作業療法学「小児科学」(第5版) : 医学書院			
授業に必要な物	PC(windows11, Powerpoint, (動画も使用します。)) プロジェクター。スクリーン。ポインター。			
備考				

【科目名】	医学概論	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業内容・目標	医療職である作業療法士として、心構えを身につける。 医療人として、対象者や自己の心理的变化について理解する。 画像から読み取る力をつける。						
前提知識	1年次に習得した知識						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	医療職としての心構えを身につけ、心理的变化や画像を理解する。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		9回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
実践・表現	○	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月3日	1	医療職としての画像理解①	画像検査法(CT、MRI、レントゲンなど)	櫻井
4月11日	2	医療職としての画像理解②	疾患各論(頭部) 脳血管障害、頭部外傷、変性・脱髄疾患、脳腫瘍 など	櫻井
4月13日	3	医療職としての画像理解③	疾患各論(脊椎・脊髄) 脊椎の疾患、胸腰椎の疾患、脊椎・脊髄の外傷、脊髄疾患 など	櫻井
4月27日	4	医療職としての画像理解④	疾患各論(四肢) 骨折・脱臼 など	櫻井
5月2日	5	医療人としての心得	記録、個人情報保護、感染対策、リスク管理、BLS、CPR、AED	櫻井
5月9日	6	医療における心理変化	障害受容、治療者と対象者間の感情(転移・逆転移)	櫻井
5月12日	7	吸引行為	制度、ガイドライン、実施方法など	櫻井
5月22日	8	総復習	授業の総まとめ	櫻井
5月29日	9	まとめと評価	医療職としての心構え、心理変化、画像が理解できる	櫻井
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	PT・OTのための画像診断マニュアル 医学教育出版社			
授業に必要な物	PC・プロジェクター・他 事前に確認すること。			
備考				

【科目名】	作業療法学概論Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて11年実務経験				
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】 第2学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	作業療法に関わる様々な理論を学び、治療や援助の方向性を理解する。						
前提知識	作業療法概論Ⅰ, その他1年次に学習した作業療法に関する知識全般。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	作業療法に関わる論理的な思考および具体的な問題解決方法について演習を通して理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月18日	1	作業療法について考える	リハビリテーションと作業療法・作業療法の定義・作業療法の対象 他	川崎
4月19日	2	カナダ作業療法モデル	カナダ作業遂行測定(COPM)・作業遂行プロセスモデル(OPPM) 他	川崎
4月24日	3	カナダ作業遂行測定(COPM)①	OTの理論COPMを用いた問題解決と作業療法のプロセス①	川崎
4月28日	4	カナダ作業遂行測定(COPM)②	OTの理論COPMを用いた問題解決と作業療法のプロセス②	川崎
5月2日	5	その他の理論・人間作業モデルと人間環境作業モデル	人間作業モデル(MOHO)・COPM・AMPS・MTDLP 他	川崎
5月8日	6	クリニカル・リーズニング①	クリニカルリーズニングとは・作業療法におけるクリニカルリーズニングの視点	川崎
5月12日	7	クリニカル・リーズニング②	クリニカルリーズニングを用いた症例の検討	川崎
5月15日	8	作業療法士に求められる資質・適正	作業療法学生に期待されること、作業療法士に求められる知識・技術・態度、生涯教育	沢田
5月16日	9	作業療法士の教育	臨床実習の意味、目的、卒後教育	沢田
5月23日	10	ICF	ICFの理解、実践	沢田
6月30日	11	作業療法の実践課程	医療技術としての作業療法、作業療法の目的、実践課程	沢田
7月4日	12	各領域の作業療法①	作業療法の実際(身体機能分野、精神機能分野)	沢田
7月10日	13	各領域の作業療法②	作業療法の実際(発達分野、高齢期分野)	沢田
7月13日	14	各領域の作業療法③	各領域についてケーススタディ	沢田
7月18日	15	各領域の作業療法④	各領域についてケーススタディ	沢田
7月26日	16	まとめと評価	各理論の理解、知識の確認	沢田
教科書 参考書	標準作業療法学 専門分野 作業療法概論 第4版 医学書院			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	基礎作業学	専門分野(1単位)	【講師名】	沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて11年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業内容・目標	作業の備えている特性、人・対象者と作業の関係性を理解する。 作業の素材・工程・用具や実施のための安全管理を理解する。						
前提知識	基礎作業学演習 I で行った各作業についての工程や作業の特性を理解している。						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	作業の分析と作業療法への応用の視点を身に付ける。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10			50	40	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月3日	1	作業とは	作業活動、コミュニケーションスキル、作業療法ガイドライン(OTPF)	沢田
4月5日	2	人と作業	作業活動とライフステージ・作業の階層	沢田
4月13日	3	包括的作業分析①	物づくり体験の課題解説①折り紙作品	沢田
4月14日	4	包括的作業分析②	物づくり体験の課題解説②折り紙作品	沢田
4月18日	5	包括的作業分析③	包括的作業分析	沢田
4月27日	6	限定的作業分析①	限定的作業分析の概要、理論・モデルによる分析	沢田
5月1日	7	限定的作業分析②	限定的作業分析の実施(グループワーク)	沢田
5月8日	8	作業活動の実施計画立案	作業実習に向けた計画立案	沢田
5月30日	9	計画内容の実践・検証①	作品制作・援助計画	沢田
6月5日	10	計画内容の実践・検証②	作品製作・援助計画・物品準備	沢田
6月29日	11	リズムタウン仙台(作業実習)①	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	沢田
6月29日	12	リズムタウン仙台(作業実習)①	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	沢田
6月30日	13	リズムタウン仙台(作業実習)②	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	沢田
6月30日	14	リズムタウン仙台(作業実習)②	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	沢田
7月7日	15	発表	作業と結果の特性	沢田
教科書 参考書	資料配布予定			
授業に必要な物	事前に確認すること。 作業の際には適切な服装を準備すること。			
備考	校外学習(作業実習)の際は身だしなみに注意し、適切な服装で臨むこと(1年次のレク実習に準ずる)。			

【科目名】	身体障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】	橋本円(作業療法士):医療機関にて14年実務経験 吉田翔太(作業療法士):医療機関にて12年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて11年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業内容・目標	身体障害領域の評価の目的を理解したうえで実施し、記録することができる。						
前提知識	解剖学、運動学、生理学、日常生活援助技術Ⅰなど。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法評価の流れを理解する。 各疾患に対する評価の目的を理解する。 評価を適切に実施し、専門用語を用いて記録できる。 						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		90		10		
	実施時期 補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現	○	○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月4日	1	評価の目的・手順	作業療法の流れ、評価の意味	吉田
4月4日	2	面接/バイタルサイン	面接評価、記録の仕方、バイタルサイン測定	橋本
4月5日	3	腱反射・病的反射	腱反射・病的反射の概要、各反射の実技	吉田
4月6日	4	意識の評価/脳神経検査	意識の評価、脳神経検査のための基礎知識、各脳神経検査法	橋本
4月10日	5	嚥下機能・検査/知覚検査①	摂食・嚥下機能検査、表在感覚(触覚・痛覚)	橋本
4月11日	6	知覚検査②	深部感覚(位置覚・運動覚)	橋本
4月19日	7	姿勢反射・筋緊張検査・各種測定	反射・筋緊張の概要、MMT・ROMの臨床的意義、筋緊張検査実技	吉田
4月26日	8	姿勢の評価	重心の位置、多方面からの姿勢分析(シェーマ)	橋本
4月26日	9	バランス検査	FBS、FR、TUGなど	吉田
5月1日	10	上肢の骨折・末梢神経損傷/腿の評価	上腕～前腕～手指の骨折、腿について	橋本
5月8日	11	協調性検査	協調性検査の概要、失調症の分類、検査実技(指鼻試験、踵膝試験など)	吉田
5月16日	12	片麻痺機能検査①	Brunnstrom Stage、上田による片麻痺機能テスト、SIAS、FMAなど	吉田
5月24日	13	片麻痺機能検査②	Brunnstrom Stage、上田による片麻痺機能テスト、SIAS、FMAなど	吉田
5月29日	14	片麻痺機能検査③	Brunnstrom Stage、上田による片麻痺機能テスト、SIAS、FMAなど	吉田
6月13日	15	脊髄損傷の評価①	脊髄損傷の概要、Zancolliの分類、Frankelの分類	橋本
6月19日	16	脊髄損傷の評価②	脊髄損傷の評価(ASIA、SCIMなど)	橋本
6月28日	17	上肢機能検査①	STEF(講義・実技)	吉田
6月30日	18	上肢機能検査②	MFT(講義・実技)	吉田
7月4日	19	関節リウマチの評価	関節リウマチの基本的評価・ADL評価	橋本
7月10日	20	神経筋疾患の評価	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ALS、ギランバレー症候群など	橋本
7月25日	21	脳血管障害の評価①	基本検査・評価の確認(OSCEに向けて)	沢田
7月28日	22	脳血管障害の評価②	ケーススタディー(樹形図の作成)	沢田
7月31日	23	脳血管障害の評価③	ケーススタディー(樹形図の作成)	沢田
8月7日	24	まとめと評価	評価の流れを理解しているか。検査の意義や方法を理解しているか。	沢田
教科書 参考書	標準作業療法学・作業療法評価学・第3版 ベッドサイドの神経の診かた			
授業に必要な物	PC・プロジェクター・他 事前に確認すること。 実技の際には、動きやすい服装を準備すること。			
備考				

【科目名】	精神障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】	木村良輔先生(作業療法士):医療機関にて17年実務経験 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて11年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業内容・目標	精神障害の作業療法評価について、実践的評価練習を通して理解する。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	精神障害の作業療法評価について理解し、正しい方法で実施することができる。 評価した項目について、専門用語を用いて報告することができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○	○			○	
	思考・推論	○	○			○	
実践・表現	○	○			○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月13日	1	精神障害作業療法・概論	精神保健医療福祉の動向と作業療法士の役割	沢田
4月14日	2	精神機能の作業療法評価の基礎	評価の目的と留意点・評価のプロセス・評価の方法	沢田
4月17日	3	面接と観察・評価の実際	情報収集の目的と留意点・情報収集の方法・間接的情報収集・直接的情報収集(観察・面接)・ウォッチングリスト・生活機能観察リスト 他	川崎
4月25日	4	面接と観察・評価の実際②	情報収集の目的と留意点・情報収集の方法・間接的情報収集・直接的情報収集(観察・面接)・ウォッチングリスト・生活機能観察リスト 他	川崎
5月15日	5	情報収集と他職種とのチームアプローチ	他職種からの情報収集・チームアプローチ・対人パターンチェックリスト 他	川崎
5月16日	6	疾患別の評価①	統合失調症・気分障害(BACS-J, UBOM, ISDA)	川崎
6月5日	7	疾患別の評価②	神経症性障害・人格障害(パーソナリティ障害)	川崎
6月6日	8	疾患別の評価③	小児・児童・器質性精神障害	木村先生
6月6日	9	OT計画の立案①	作業療法の計画・個人プログラム 他	木村先生
6月13日	10	OT計画の立案②	目標・計画・ICF・作業活動 他	木村先生
6月13日	11	生活の支援	ADL・環境・就労 他	木村先生
6月20日	12	理論・モデル	精神認知機能障害に対する作業療法の理論・モデル・関連療法	木村先生
6月20日	13	グループワーク・ロールプレイ	作業療法の実際	木村先生
6月27日	14	集団における評価	集団内における個人を対象とした評価・集団を対象とした評価・集団構造の評価 他	木村先生
7月5日	15	総復習	授業の総まとめ	川崎
7月14日	16	まとめと評価	精神科領域における作業療法の特徴の理解、知識の確認	川崎
教科書 参考書	精神障害と作業療法 新版 山根寛 著 (三輪書店) 生活を支援する精神障害作業療法 急性期から地域実践まで 第2版 香山明美 他編 (医歯薬出版) 作業療法評価学 第3版 能登真一 他編 (医学書院)			
授業に必要な物	PC・プロジェクター・他 事前に確認すること			
備考				

【科目名】	発達障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】 道又 颯 先生(作業療法士):医療機関にて20年実務経験 川崎 加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験				
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】 第2学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	発達障害領域の評価の目的を理解し、実施できる。						
前提知識	解剖学、運動学、人間発達学など。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	・発達障害について理解する。 ・発達障害領域での作業療法の目的と役割を理解する。 ・発達領域で行う検査・評価を理解し適切に実施できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		16回目				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月4日	1	発達障害領域の評価	オリエンテーション、評価について	道又先生
4月4日	2	発達過程作業療法の基礎1	理念と目的	道又先生
4月11日	3	発達過程作業療法の基礎2	形成(歴史)と変遷	道又先生
4月11日	4	発達過程作業療法の基礎3	人間の発達過程①	道又先生
4月18日	5	発達過程作業療法の基礎4	人間の発達過程②	道又先生
4月18日	6	発達過程作業療法の基礎5	対象疾患と発達遅滞症状	道又先生
4月25日	7	発達過程作業療法の基礎6	関連する法規・制度、作業療法士の役割	道又先生
4月25日	8	発達過程作業療法学	実践現場と実践課程および記録①	道又先生
5月2日	9	発達過程作業療法学	実践現場と実践課程および記録②	道又先生
5月2日	10	発達過程作業療法の地域支援	地域支援の実際	道又先生
6月6日	11	検査法各論①	JDDST-R、遠城寺式乳幼児分析発達検査など	道又先生
6月6日	12	検査法各論②	GMFCS、MACSなど	道又先生
6月9日	13	検査法各論③	知能検査、IQ、心理検査など	川崎
6月12日	14	検査法各論④	国家試験対策、小テスト	川崎
6月14日	15	総復習	授業の総まとめ	川崎
6月23日	16	まとめと評価	発達障害領域における評価の目的と各種検査が理解できる	川崎
教科書 参考書	標準作業療法学 発達過程作業療法学 医学書院 標準作業療法学 作業療法評価学・身体障害作業療法学 医学書院			
授業に必要な物	準備担当者は事前に確認をすること。PC、プロジェクターを必要に応じて準備。			
備考				

【科目名】	老年期障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】 櫻井直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 橋本円(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】 第2学年 作業療学科				
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	老年期の障害・評価を理解する						
前提知識	解剖学・運動学・生理学など						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	老年期の障害・評価を理解し、評価ができるようになる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現	○	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月10日	1	各論① 高齢者に多い疾患(呼吸器・循環器疾患)①	虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、心不全(右心不全・左心不全)、不整脈	櫻井
4月10日	2	各論① 高齢者に多い疾患(呼吸器・循環器疾患)②	肺性心、COPD、間質性肺炎、肺癌、血圧異常(高血圧、低血圧)	櫻井
4月20日	3	各論② 高齢者に多い疾患(呼吸器・循環器疾患)③	感染性呼吸器疾患(肺炎・誤嚥性肺炎・肺結核)、静脈血栓症と肺塞栓	櫻井
4月24日	4	各論③神経系疾患(CVA、PD、末梢神経障害)	脳血管障害(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)、一過性脳虚血発作(TIA)、変性疾患(パーキンソン病)	櫻井
5月18日	5	各論④運動器(骨・骨格筋)疾患	骨粗鬆症、変形性関節症(OA 変形性膝・股関節症)、変形性脊椎症、関節リウマチ(RA)、後縦靭帯骨化症	櫻井
5月22日	6	各論⑤内分泌代謝疾患	糖尿病(DM)、脂質異常症、甲状腺疾患	櫻井
5月22日	7	各論⑥精神疾患、皮膚疾患、眼疾患	せん妄、老年期うつ病、老年期神経症、老年期パーソナリティ障害	櫻井
5月25日	8	高齢者に多い疾患のまとめ	1回～8回のまとめ	櫻井
5月26日	9	ケーススタディー①	症例についてグループに分かれて意見交換する	櫻井
5月29日	10	介護予防支援事業対策①	握力測定、FBS計測練習	櫻井
6月1日	11	介護予防支援事業対策②	自主トレーニングを継続して行えるようにするには課題の提示を考える	櫻井
6月2日	12	高齢社会、高齢期の課題	高齢者の定義、高齢社会とは、出生率、加齢と老化、高齢化について 高齢期の心身の特徴、高齢期における発達、高齢者の生きがい、高齢者の就業、高齢期の社会活動、地域包括ケアシステム	橋本
6月8日	13	社会制度	社会保障制度、介護保険法(住宅改修、福祉用具貸与他)、後期高齢者医療制度、生活保護、成年後見制度、高齢者虐待防止法	橋本
6月9日	14	高齢期の一般的特徴(老化とは)	循環器、呼吸器、消化器系、腎機能、排泄機能、内分泌系の加齢変化	橋本
6月15日	15	高齢期の一般的特徴(高齢者の生理的・身体的特徴)	体温調整機能、血液および造血系、生殖系、視覚、聴覚、味覚、体性感覚、運動器系の加齢変化	橋本
6月16日	16	高齢期の一般的特徴(老年症候群)①	老年症候群とは、不眠、低栄養について、摂食・嚥下、尿失禁、褥瘡	橋本
6月22日	17	高齢期の一般的特徴(老年症候群)②	廃用症候群、サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドローム	橋本
6月27日	18	高齢期の一般的特徴(高齢期の精神的・心理的特徴)	高齢期作業療法の役割と機能、高齢期作業療法の目的、日常生活での介入ポイント	橋本
7月10日	19	高齢期の一般的特徴(高齢期の精神的・心理的特徴)	高齢者の自動車免許について、初老期および老年期うつ、高齢者の認知機能	橋本
7月14日	20	認知症	認知症とは、MCI、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症について	橋本
7月19日	21	認知症の評価	評価の基礎、HDS-R、MMSE、パラチェック老人行動評価、国立精神研究式痴呆スクリーニングテスト、柄澤式老人知能の臨床的判定基準、GBSスケール、NMスケール、N-ADL、障害老人の日常生活自立度判定基準、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準、CDR、BPSDの評価(NPI、DBD、Behave AD)	橋本
7月20日	22	ケーススタディー②	高齢期の作業療法の目的・役割と機能症例についてグループに分かれて意見交換する	橋本
7月25日	23	総復習	授業の総まとめ	橋本
8月2日	24	まとめと評価		橋本
教科書 参考書	標準作業療法学 高齢期作業療法学 医学書院 病気がみえるシリーズ「循環器」「呼吸器」「脳・神経」「整形外科」			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考	9グループに分かれて介護予防教室参加予定。介護予防支援事業対策①②では介護予防教室での体力測定の準備(練習)を行う。			

【科目名】	高次神経障害作業療法学Ⅰ	専門分野(1単位)	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年	作業療法学科		
【時間数】	15時間 (時間 8回)		【時間帯】	:	~	:	
	(他時間割参照)						
授業内容・目標	高次脳機能障害の特徴と、行動に与える影響について学ぶ。各種検査の解釈について理解する。						
前提知識	運動学、解剖学、生理学						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	神経疾患あるいは脳損傷による意識、情動、注意、記憶、言語、遂行機能、行為、空間認知、知覚(視覚、聴覚、体性感覚など)などさまざまな心理過程の障害を正確に把握し、その土台にある大脳の働きを究め、障害治療を進めることができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		9回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○				
	思考・推論	○					
実践・表現	○						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
6月5日	1	高次脳機能障害とは	高次脳機能とは？高次脳機能障害の特徴と原因疾患	櫻井
6月13日	2	注意障害	注意障害と損傷部位、注意障害の症状と評価、全般性注意障害、方向性注意障害、検査(CAT,TMT, BIT,CBS,レーブン色彩マトリックス検査Fluff test, Comb and razor/compact test, Vest test)	櫻井
6月19日	3	記憶障害	記憶障害と損傷部位、記憶障害の症状と評価(WMS-R, RBMT, 三宅式記銘力検査, ベントン視覚記名検査, レイ・オストリッチの複雑図 RAVLT)	櫻井
6月23日	4	失語症	失語症と損傷部位、失語症の症状と評価、検査(SLTA, WAB, CADL)	櫻井
6月27日	5	失行・失認	失行・失認と損傷部位、失行の症状と評価、検査(SPTA)・失認の症状と評価、検査(VPTA)	櫻井
7月4日	6	遂行機能障害・社会的行動障害	遂行機能障害・社会的行動障害と損傷部位、遂行機能障害の症状と評価、検査(BADS, WCST)	櫻井
7月10日	7	その他症状、検査	バリエーション症候群, ゲルストマン症候群, WAIS-III, 描画等	櫻井
7月14日	8	総復習	授業の総まとめ	櫻井
7月24日	9	まとめと評価		櫻井
教科書 参考書	標準作業療法学 高次脳機能障害作業療法学第2版(医学書院) 病気が見える Vol⑦ 脳・神経			
授業に必要な物	PC、プロジェクターその他			
備考				

【科目名】	日常生活援助技術Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】	吉田 翔太(作業療法士):医療機関にて12年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業内容・目標	ひとの生活と日常生活活動・生活行為について理解する。ADLの評価について理解する。						
前提知識	日常生活援助技術Ⅰの知識						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	ADLの構成要素について分析し、ADL評価を実施できる。 評価結果を専門用語を用いて報告できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
実践・表現	○	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月5日	1	日常生活動作総論・ICF	ICIDHとICF, ADLとIADL, 動作中の観察方法 他	吉田
4月10日	2	ADLの分類と評価表	FIM, BI, Wee FIM, CHART-J, ESCROW Profies, 老研式活動能力指標, 認知症高齢者の日常生活自立度の判定基準 他	吉田
4月21日	3	ADLの評価 BI/FIM	BI(Barthel Index):特徴・評価項目・評価方法 FIM(Functional Independence Measure):特徴・評価項目	吉田
4月24日	4	ADLの評価 FIM(運動項目)	ADL評価, FIM(運動項目)の採点基準・原則, セルフケアの採点方法①	吉田
5月1日	5	ADLの評価 FIM(運動項目)	ADL評価, FIM(運動項目)の採点基準・原則の復習, セルフケアの採点方法②, 排泄コントロール, 移動	吉田
5月9日	6	ADLの評価 FIM(運動項目)	ADL評価, FIM(運動項目)の採点基準・原則, セルフケアの採点方法③, 移乗, FIM演習(運動項目に関するもの)	吉田
5月15日	7	ADLの評価 FIM(認知項目)	ADL評価, FIM(認知項目)の採点基準・原則, コミュニケーション(理解・表出)	吉田
5月17日	8	ADLの評価 FIM(認知項目)・演習	ADL評価, FIM(認知項目)の採点基準・原則復習, 社会的認知(社会的交流・ 問題解決・記憶), 演習:FIMを活用した症例のADL評価	吉田
5月22日	9	身体機能のADL～起居・移動・食事～CVA	基本動作の評価～構成要素と動作練習(基礎練習・部分練習・全体練習) 食事動作の工程, 食事動作を阻害する原因とは, 食事における上肢機能 他	吉田
6月2日	10	身体機能のADL～更衣～CVA	更衣の工程と構成要素, 衣服の各名称 更衣練習の進め方・指導方法(前開き・かぶり・ズボン・靴下・装具)	吉田
6月7日	11	身体機能のADL～排泄～CVA	排泄活動とは, 排泄活動の手順と構成要素, 評価の視点と方法 評価の解釈と支援計画の立案, 環境整備	吉田
6月12日	12	身体機能のADL～整容・入浴～CVA	整容動作の特徴・構成要素, 評価の視点・観察, 支援方法 入浴の目的, 入浴にかかわる要素, 入浴の評価と支援方法	吉田
6月26日	13	身体機能のADL～その他CVAを中心に～	運動器障害・整形外科疾患のADL・病期によるADLのポイント ADLにおける修復組織別の注意点	吉田
7月5日	14	精神機能のADL	生活活動の観察, 活動(日常生活)機能観察リスト 疾患別ADL(行動の特徴と評価・観察の視点)	吉田
7月11日	15	総復習	授業の総まとめ	吉田
7月18日	16	まとめと評価	教科書・配布資料・授業内に実施した演習問題をよく復習しておくこと	吉田
教科書 参考書	標準作業療法学 専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 榊医学書院 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 榊医学書院			
授業に必要な物	必要物品は事前に確認すること。 授業資料は継続して使用します。前回までの資料も必ず持参してください。			
備考				

【科目名】	福祉機器活用援助技術Ⅰ	専門分野(1単位)	【講師名】 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 橋本円(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	2年次前期	【対象学生】	第2学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)	【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	脳血管障害者や高齢者、脊髄損傷者などの疾患の身体機能に応じた福祉機器適合・導入の方法、使用方法について説明できる						
前提知識	脳血管障害や脊髄損傷、進行性疾患などの病態の理解。高齢者の特徴。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	義肢の種類と適応を理解し、OTアプローチを説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					
授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
4月19日	1	作業療法と環境整備	住環境とは?、住環境整備、福祉用具総論、福祉用具導入に必要な評価項目、福祉用具が備えるべき基本条件				川崎
4月24日	2	介護保険法	介護保険制度について、介護保険における住環境整備について、介護保険における福祉用具について				川崎
5月1日	3	起居動作と福祉機器①	ベッド・車椅子・トランスファーボード(実技含)・リフター				川崎
5月17日	4	起居動作と福祉機器②	移動用バー各種・歩行者・杖各種(実技含)				橋本
5月24日	5	ADLと福祉機器	入浴・更衣・整容関連の福祉機器・用具				橋本
5月29日	6	ADLと福祉機器	食事・排泄・家事関連の福祉機器・用具				橋本
6月7日	7	ポジショニング	ポジショニングの基本(姿勢別に実技)				橋本
6月14日	8	ポジショニング	ポジショニングの基本(姿勢別に実技)				橋本
6月16日	9	見取り図の記載	自宅見取り図の記載				川崎
6月26日	10	疾患別の作業介入①	脳性麻痺関連の住環境整備および福祉機器				橋本
6月28日	11	疾患別の作業介入②	脳血管障害関連の住環境整備および福祉機器				橋本
7月4日	12	疾患別の作業介入③	関節リウマチ関連の住環境整備および福祉機器				川崎
7月7日	13	疾患別の作業介入④	進行性疾患関連の住環境整備および福祉機器				川崎
7月11日	14	疾患別の作業介入⑤	脊髄損傷関連の住環境整備および福祉機器				川崎
7月12日	15	総復習	授業のまとめ				橋本
7月21日	16	まとめと評価	福祉機器の名称や導入目的が理解できる。住環境整備や福祉機器の導入に関わる基本を確認。各疾患の特徴に合わせて福祉機器を選択できる。関連のある制度の基本が説明できる。				川崎
教科書・参考書	「作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備」						
授業に必要な物	PC, プロジェクター						
備考	実技を行う際は、動きやすい服装を準備すること。						

【科目名】	義肢活用援助技術	専門分野(1単位)	【講師名】 宮内博之先生(義肢装具士) 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 橋本円(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	2年次前期	【対象学生】	第2学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)	【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	解剖学・運動学の視点を持ちながら義肢装具の機能と適応を学ぶ。 スプリントの作製方法を学ぶ。						
前提知識	解剖学・基礎運動学						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	義肢の種類と適応を理解し、OTアプローチを説明できる。						
成績評価 基準と方法	配分(%)	意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	実施時期		100				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				
授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
4月3日	1	切断 総論	切断とは 切断の原因 切断と呼称 他				橋本
4月5日	2	義手 総論	義手の種類・構造と部品				橋本
4月19日	3	肩義手・上腕義手	肩義手・上腕義手 作業療法の目標とプログラム				橋本
4月20日	4	手部義手・前腕義手	肩義手・上腕義手 作業療法の目標とプログラム				橋本
5月8日	5	筋電義手	筋電義手の構造と部品				橋本
5月15日	6	義手のチェックアウト	義手の適合判定とフォローアップ				橋本
5月16日	7	義肢装具の実際	義肢装具士(PO)とは、役割と給付体制、装具の基礎知識				宮内先生
5月23日	8	義肢装具の実際	義手と義足について・義肢装具体験				宮内先生
5月23日	9	義肢装具の実際	義肢装具体験				宮内先生
6月14日	10	スプリント(実習)	カックアップスプリント作製(トレース・型紙・裁断)				橋本
7月10日	11	スプリント(実習)	カックアップスプリント作製(裁断・加熱・モールドイング)				橋本
7月18日	12	スプリント(実習)	カックアップスプリント作製(モールドイング・修正・仕上げ)				橋本
7月20日	13	義足 総論	義足の種類・構造と部品				川崎
7月26日	14	切断・義足のリハビリテーション	義足リハビリテーション・評価と目標設定				川崎
8月1日	15	総まとめ	教科書・配布資料・授業内に実施した演習問題をよく復習しておくこと				橋本
8月8日	16	まとめと評価	【確認テスト】				川崎
教科書 参考書	リハビリテーション義肢装具学 清水順市, 青木主税 編 (株)メジカルビュー社						
授業に必要な物 備考	事前に確認すること						

【科目名】	内科学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	櫻井 直人(作業療法士);医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科/理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	10:30 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	一般的な内科学に関する疾患についてその病態や成り立ち、治療法を理解する。 理学療法・作業療法を実施する上でのリスクを理解する。						
前提知識	内臓学に関する解剖・生理学の1年次の知識を再確認すること。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	内科疾患の基礎を理解できる。 病気の成因や病態を理解できる。 治療法やリスクを理解できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100%				
	実施時期		16回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月7日	1	血液の生理	血液の主成分 貧血	櫻井
9月14日	2	血液・造血器疾患各論	血友病 白血病 HIV	櫻井
9月21日	3	糖尿病①	糖尿病のメカニズムと症状 診断基準の理解	櫻井
10月5日	4	糖尿病②	低血糖症状・高血糖症症状	櫻井
10月5日	5	糖尿病③	合併症の理解(腎症・網膜症・神経症など)・運動療法と禁忌事項	櫻井
10月12日	6	腎不全	慢性腎不全の症状・透析療法と運動療法	櫻井
10月19日	7	腎不全	ネフローゼ症候群・尿毒症	櫻井
11月2日	8	ビタミン過剰・欠乏症	水溶性・脂溶性ビタミン 原因と症状	櫻井
11月9日	9	癌①	癌の種類	櫻井
11月16日	10	癌②	肺癌など	櫻井
11月30日	11	消化管疾患各論	肝炎 肝硬変 肝癌 門脈圧亢進 膵炎(急性・慢性)	櫻井
12月7日	12	消化管疾患各論	食道癌 胃癌(胃切除症候群) 大腸癌 腸閉塞 虚血性大腸炎 潰瘍性大腸炎 クロウン病	櫻井
12月14日	13	検査データの解釈	血液ガス分析・血清タンパク・酵素	櫻井
12月21日	14	検査データの解釈	尿検査	櫻井
1月11日	15	総復習	1~15回までの総復習	櫻井
1月18日	16	まとめと確認		教員
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野 内科学			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	臨床検査概論	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	岩淵 英里奈			
【講義期間】	2年次後期 令和5年9月6日～		【対象学生】	第2学年 理学療法学科 名 作業療法学科 名			
【時間数】	15時間(2時間 7.5回)ほか期末試験 水曜日		【時間帯】	9:00～10:30			
授業内容・目標	臨床検査の目的および病態との関連を理解する、内科学と関連付け理解を深める						
前提知識	解剖学や生理学などの基礎医学の知識 疾患に対する組織・細胞などの反応に関する病理学の知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	各種臨床検査、検査値の意義について説明できる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論 実践・表現		○				

授業計画

日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
10/4	1	臨床検査とその役割	臨床検査の目的、臨床検査の種類、検査結果の評価	
10/4	2	一般検査	尿検査、便検査、体腔内貯留液検査、脳脊髄液検査、関節液検査	
10/11	3	血液学的検査-1	血液の成分構成について、血球検査、出血・凝固検査	
10/11	4	血液学的検査-2		
10/18	5	生化学検査-1	血清タンパク質・血清酵素の検査、糖代謝・脂質代謝の検査、腎機能検査	
10/18	6	生化学検査-2		
10/25	7	免疫・血清学的検査-1	炎症マーカーの検査、免疫グロブリン、自己抗体の検査、腫瘍マーカー、輸血に関する検査	
10/25	8	免疫・血清学的検査-2		
11/1	9	内分泌学的検査-1	全身の内分泌器官から産生されるホルモンの検査	
11/1	10	内分泌学的検査-2		
11/8	11	病理検査	細胞診、病理組織検査	
11/8	12	微生物学検査	感染症について、一般細菌・ウイルスについて	
11/15	13	院内感染対策について	感染対策の基本、職業感染対策、廃棄物の取り扱いについて	
11/15	14	生理機能検査	心電図、呼吸機能検査、神経機能検査	
11/22	15	画像検査	超音波検査、MRI検査	
教科書 参考書	系統看護学講座別巻「臨床検査」 奈良信雄編 医学書院			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	薬理学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	小野木 弘志			
【講義期間】	2年次後期 令和5年9月1日～		【対象学生】	第2学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	15時間(2時間 7.5回 ほか期末試験) 木曜日		【時間帯】	13:00～14:30 14:40～16:10			
授業内容・目標	リハビリテーション計画・実施・評価において必要な薬の作用、副作用を学びます。医療専門職として、薬の基礎知識を科学的・論理的に自分の言葉で説明できるようになることを目標としています。またグループワーク等のアクティブラーニングを通じて、自ら学ぶ姿勢を養います。						
前提知識	解剖生理学、生化学、病理学						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	リハビリテーション計画・実施・評価に必要な薬の知識について説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	60		10	10	10
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解		○		○	○	○
	思考・推論		○		○	○	○
実践・表現				○	○		

授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
9月7日	1	薬理学総論、確認試験	薬がどのように作用するのかを神経伝達物質や受容体を例に概説する。薬理学、薬物動態学の基礎のほか、これまでの学修との関連付けを行う。				
9月7日	2	リハビリテーション計画・実施に影響する薬について調べる	筋弛緩薬、局所麻酔薬を含む末梢・中枢神経各作用薬、非ステロイド性抗炎症薬、ステロイド、抗ヒスタミン薬、循環器系作用薬など、リハビリテーション計画・実施に影響する薬についてグループワークを行う。				
9月14日	3	末梢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	末梢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。				
9月14日	4	中枢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	中枢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。				
9月21日	5	循環器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	循環器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。				
9月21日	6	代謝系疾患治療薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	代謝系疾患治療薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。				
9月28日	7	消化器系、呼吸器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	消化器系、呼吸器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。				
9月28日	8	その他の薬(抗悪性腫瘍薬、抗感染症薬)の講義、これまでの振り返りと確認試験	抗悪性腫瘍薬、抗感染症薬の講義を実施する。講義後はこれまでの授業内容の振り返りと確認試験(ミニテスト)を実施する。				
10月5日	9	まとめと確認	講義のまとめとして筆記試験を実施する。筆記試験後には授業のまとめとして試験の解説を実施する。				内部教員実施
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
教科書 参考書	なし						
授業に必要な物	筆記用具、ノート、薬に関する専門書・スマートフォン・タブレット端末・ノートPCなど、薬に関して調べることができるツール						
備考							

【科目名】	整形外科Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	木幡博人(理学療法士):医療機関にて18年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科、作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:40 (他時間割参照)			
授業内容・目標	整形外科分野の知識について理解する						
前提知識	解剖学・運動学・生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状及び特徴を説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		○				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月7日	1	整形外科疾患の画像について	オリエンテーション X-ray, MRIの診かたについて	木幡
9月14日	2	下肢の骨折	代表的な下肢骨折の病態、発生機序・分類、治療	木幡
9月21日	3	大腿骨頸部骨折と人工関節置換術	大腿骨頸部骨折の病態、病期、治療 人工関節置換術と脱臼について	木幡
9月28日	4	大腿骨頸部骨折と人工関節置換術	人工関節置換術後のADLについて	木幡
9月28日	5	変形性関節症	変形性関節症の病態	木幡
10月12日	6	変形性股関節症	変形性股関節症の病態、病期、治療	木幡
10月19日	7	変形性膝関節症	変形性膝関節症の病態、病期、治療	木幡
11月2日	8	整形外科疾患におけるリスク管理(手術合併症)	静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症)	木幡
11月9日	9	スポーツ外傷(靭帯)	スポーツ外傷(靭帯損傷)の病態、病期、治療 RICE処置	木幡
11月16日	10	スポーツ外傷(半月板)	スポーツ外傷(半月板損傷)の病態、病期、治療 RICE処置	木幡
11月30日	11	骨粗鬆症	骨粗鬆症の成因、原発性と続発性、評価と治療、その他の低骨量の疾患	木幡
12月7日	12	腰痛症(腰椎ヘルニア、脊柱管狭窄症)	腰痛を引き起こす疾患、病態、病期、腰痛の評価、治療	木幡
12月14日	13	側弯症	側弯症の病態、病期、評価、治療	木幡
12月21日	14	骨壊死・骨端症	特発性骨壊死と続発性骨壊死、骨端症の分類	木幡
1月11日	15	四肢循環障害	深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、バージャー病、閉塞性動脈硬化症、他	木幡
1月19日	16	まとめと評価(期末)	整形外科領域の基礎知識の確認。疾患の特徴、検査、治療の理解について	木幡
教科書 参考書	標準整形外科学(医学書院)			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	臨床神経学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	石島 孝樹(理学療法士):医療機関にて15年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	神経症候・神経学的所見について学び、その臨床的意義を理解する。また、神経・筋疾患に関する知識を獲得する。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖生理学の基礎知識。リハビリテーション分野における評価診断学の基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	神経症候・神経学的所見に関する臨床的意義を説明できる。神経・筋疾患に関する知識を理解し、疾患特性について説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現							

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月2日	1	認知症(1)	認知症の概要、認知症の鑑別診断	石島
9月9日	2	認知症(2)	治療可能な認知症、脳腫瘍の概要	石島
9月16日	3	外傷性脳損傷	外傷性脳損傷の概要、外傷性脳損傷の症状と治療	石島
9月30日	4	脊髄疾患	脊髄疾患、脊髄損傷の随伴症状と合併症、脊髄損傷の心理的問題と日常生活	石島
10月7日	5	変性疾患(1)	変性疾患(脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患)、脱髄疾患(多発性硬化症など)	石島
10月14日	6	変性疾患(2)	錐体外路の変性疾患の定義、錐体外路疾患各論	石島
10月21日	7	末梢神経障害	末梢神経障害の分類、末梢性ニューロパシー	石島
10月28日	8	筋疾患(1)	てんかんの診断と治療、ミオパシーの概要	石島
11月11日	9	筋疾患(2)	ミトコンドリア病、先天性ミオパシー、多発性筋炎、周期性四肢麻痺、筋無力症	石島
11月18日	10	感染性疾患	神経系の感染、感染性疾患各論	石島
11月25日	11	小児神経疾患	脳性麻痺、二分脊椎、Down症候群、先天性代謝疾患	石島
12月2日	12	神経学的診察法(1)	診断のすすめかた、運動麻痺の部位とその原因診断、錐体路徴候	石島
12月9日	13	神経学的診察法(2)	運動機能の診かた、診察の順序、四肢の観察、筋緊張の診かた、歩行の異常	石島
12月16日	14	神経学的診察法(3)	反射の診かた、腱反射と表在反射、病的反射	石島
12月23日	15	まとめと評価	認知症、脊髄疾患、変性疾患、筋疾患、感染性疾患、小児疾患、神経学的診察法	科目担当
教科書 参考書	神経内科学 第5版 医学書院 ベッドサイド神経の診かた 改訂18版 南山堂			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				

【科目名】	精神医学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	高野毅久先生			
【講義期間】	2年後後期 令和5年9月1日～		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	14:40～16:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	精神障害者への対応を学ぶことができる。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	精神疾患の病態を理解し、対応について説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月6日	1	統合失調症	統合失調症患者への対応①発症 経過 予後	高野先生
9月13日	2	統合失調症	統合失調症患者への対応②病態と症状 治療環境	高野先生
9月20日	3	統合失調症	統合失調症患者への対応③患者と家族 環境 社会復帰	高野先生
9月27日	4	気分障害	病前性格 発病状況 経過 予後	高野先生
10月4日	5	気分障害	気分障害患者への対応 精神療法の原則	高野先生
10月11日	6	治療	神経伝達物質 薬物治療と有害事象 社会的治療	高野先生
10月18日	7	精神遅滞 発達障害	患者への対応	高野先生
10月25日	8	認知症	認知症患者への対応①認知症 せん妄	高野先生
11月1日	9	認知症	認知症患者への対応②患者と家族 環境 福祉	高野先生
11月8日	10	精神作用物質 衝動制御の障害	アルコール 薬物 依存症 病的賭博・放火・窃盗	高野先生
11月15日	11	てんかん 意識障害	てんかん発作の分類 意識障害の評価	高野先生
11月29日	12	摂食障害 睡眠障害 性同一性障害	食 睡眠 性の障害	高野先生
12月6日	13	神経症性障害	不安 恐怖 強迫 解離 身体表現性障害	高野先生
12月13日	14	ストレス関連障害	適応障害 急性ストレス反応 PTSD	高野先生
12月14日	15	総復習	適応障害 急性ストレス反応 PTSD	高野先生
12月20日	16	まとめと評価		内部教員
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学「精神医学」第4版増補版:医学書院			
授業に必要な物	パソコン・プロジェクター			
備考				

【科目名】	臨床作業療法学	専門分野(1単位)	【講師名】 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて11年実務経験				
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】 第2学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 10:30 ~ 12:10 (他時間割参照)				
授業内容・目標	作業療法の評価や治療について復習する 臨床実習において主体的に行動できるよう準備する						
前提知識	作業療法に必要な検査・評価方法の理解						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	作業療法に必要な検査・評価方法を用いて、症例検討ができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		20	50	30		
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○	○	○		
	知識・理解	○	○	○	○		
	思考・推論	○	○	○	○		
実践・表現	○	○	○	○			

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月4日	1	臨床実習の概要について	実習に必要な態度面について	沢田
9月11日	2	領域別症例検討①	ケーススタディー①	沢田
9月25日	3	領域別症例検討②	ケーススタディー②	沢田
10月2日	4	領域別症例検討③	ケーススタディー③	沢田
10月16日	5	記録について①	デイリーノート、ケースノートの書き方	沢田
10月25日	6	記録について②	レポートの書き方	沢田
10月25日	7	記録について③	サマリーの書き方について	沢田
10月30日	8	評価計画立案	対象者に応じた評価計画の立案	沢田
11月14日	9	計画に基づく評価の実施	評価の実施(実技)	沢田
11月21日	10	治療計画立案	対象者に応じた治療計画の立案	沢田
11月27日	11	治療計画に基づく実施	治療の実施(実技)	沢田
12月4日	12	実習前評価の準備①	OSCE練習	沢田
12月12日	13	実習前評価の準備②	OSCE練習	沢田
12月18日	14	実習前評価の準備③	OSCE練習	沢田
12月21日	15	実習前評価の準備④	OSCE練習	沢田
1月12日	16	実習前評価	OSCE実施	沢田
教科書 参考書	各評価学・治療学のテキスト			
授業に必要な物	実技の際は動きやすい服装			
備考				

【科目名】	身体障害作業療法学Ⅱ	専門分野(4単位)	【講師名】 安宅航太先生(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 櫻井 直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 橋本円(作業療法士):医療機関にて14年実務経験 吉田翔太(作業療法士):医療機関にて12年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて11年実務経験				
【講義期間】	2年次後期						
【時間数】	90時間 (2時間 45回)						
【対象学生】	第2学年 作業療学科		【時間帯】 9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)				
授業内容・目標	身体障害領域(運動器疾患・脳血管疾患・脊髄損傷・神経筋疾患)の各疾患に対する作業療法の専門的基礎知識および技術について理解を深める。基本的な作業療法の治療展開を知る。						
前提知識	解剖学、生理学に関する基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)		演習(○)		実習()		
到達目標	各疾患の病態を理解し、障害像を説明できる。各疾患に対する評価と治療の流れを説明することが出来る。各疾患における作業療法士の役割を説明することが出来る。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		50	50			
	実施時期		当科目終了時	当科目実施中			
	補足						
	関心・意欲		○	○			
	知識・理解		○	○			
	思考・推論 実践・表現		○	○			
授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード			講師	
9月1日	1	脳血管障害の作業療法	脳画像のみかた			吉田(翔)	
9月4日	2	脳血管障害の作業療法	脳画像のみかた			吉田(翔)	
9月6日	3	脳血管障害と脳損傷	脳血管障害と脳損傷の分類			吉田(翔)	
9月8日	4	筋緊張異常に対するアプローチ①	筋緊張弛緩、亜脱臼、アームスリング、肩の痛みの評価、促進			吉田(翔)	
9月11日	5	筋緊張異常に対するアプローチ②	筋緊張亢進、抑制			吉田(翔)	
9月13日	6	麻痺側上肢に対する作業療法	抑制、促進、ポジショニング、装具、ステージに合わせた訓練、管理指導			吉田(翔)	
9月15日	7	姿勢・動作分析	姿勢分析・姿勢筋緊張の分析、リーチの動作分析			吉田(翔)	
9月22日	8	吸引①	吸引の基礎			櫻井	
9月22日	9	吸引②	吸引の実際			櫻井	
9月25日	10	急性期・亜急性期の作業療法	リスク管理、早期離床、ポジショニング、嚥下、ベッドサイドでの作業療法			吉田(翔)	
9月27日	11	回復期の作業療法	ADL、ポジショニング			橋本	
9月29日	12	退院支援	環境調整、IADL支援、退院前訪問、家族指導、カンファレンス			沢田	
10月2日	13	脳血管障害の作業療法	高次脳機能障害、就労支援、自動車運転への取り組みなど			吉田(翔)	
10月4日	14	維持期の作業療法	訪問リハ、通所リハ			沢田	
10月6日	15	運動器疾患の治療①	橈骨遠位端骨折、上腕骨骨折、手指の骨折			橋本	
10月10日	16	運動器疾患の治療②	屈筋腱損傷			橋本	
10月11日	17	運動器疾患の治療③	関節可動域訓練の基礎、関節包内運動、自動運動、他動運動、自己他動運動			吉田(翔)	
10月11日	18	運動器疾患の治療④	筋力トレーニングの基礎、等尺性収縮、等張性収縮			吉田(翔)	
10月13日	19	運動器疾患の治療⑤	肩のリハビリテーション(腱板損傷、肩関節周囲炎等)			吉田(翔)	
10月13日	20	運動器疾患の治療⑥	末梢神経損傷			橋本	
10月16日	21	物理療法の基礎	ホットパック、パラフィン、アイシングなどの実践			沢田	
10月16日	22	肩の痛みの治療	肩手症候群、CRPS、RSD			吉田(翔)	
10月17日	23	熱傷の作業療法	熱傷の評価、リスク管理、スプリント(遠隔授業)			沢田	
10月18日	24	脊髄損傷の治療①	急性期、ゼンコリーの分類、ASIAの分類、フランケルの分類、バランス、ADL			吉田(翔)	
10月20日	25	脊髄損傷の治療②	テノデーシスアクション、OKC、OKC、脊損の疑似ADL体験、社会復帰			吉田(翔)	
10月23日	26	関節リウマチの作業療法①	関節リウマチの病態、合併症、薬物療法、温熱療法(遠隔授業)			沢田	
10月24日	27	関節リウマチの作業療法②	関節リウマチの運動療法、ADL指導、関節保護、自助具			沢田	
10月24日	28	神経・筋疾患の作業療法①	パーキンソン病の病態、評価、治療目標			沢田	
10月30日	29	神経・筋疾患の作業療法②	パーキンソン病の運動療法、ADL指導、福祉機器導入			沢田	
10月31日	30	神経・筋疾患の作業療法③	筋萎縮性側索硬化症の病態、治療の基礎			沢田	
10月31日	31	神経・筋疾患の作業療法④	筋萎縮性側索硬化症のADL指導、OTの役割			沢田	
11月6日	32	神経・筋疾患の作業療法⑤	多発性硬化症、ギランバレー症候群のOTの役割、ADL指導			沢田	
11月6日	33	神経・筋疾患の作業療法⑥	脊髄小脳変性症のOTの役割、ADL指導			沢田	
11月8日	34	神経・筋疾患の作業療法⑦	その他の疾患について			沢田	
11月10日	35	総復習	授業の復習、実技試験対策			沢田	
11月13日	36	実技試験(OSCE-1)	腱反射・Brs.			OT教員	
11月13日	37	実技試験(OSCE-1)	腱反射・Brs.			OT教員	
11月20日	38	実技試験(OSCE-2)	ROM,MMT			OT教員	
11月20日	39	実技試験(OSCE-2)	ROM,MMT			OT教員	
12月4日	40	実技試験(OSCE-3)	知覚検査、筋緊張検査			OT教員	
12月4日	41	実技試験(OSCE-3)	知覚検査、筋緊張検査			OT教員	
12月11日	42	実技試験(OSCE-4)	高次脳機能検査、ADL評価			OT教員	
12月11日	43	実技試験(OSCE-4)	高次脳機能検査、ADL評価			OT教員	
12月22日	44	脳血管障害の作業療法	作業療法の実際、CI療法など			安宅先生	
12月22日	45	脳血管障害の作業療法	作業療法の実際、CI療法など			安宅先生	
1月9日	46	まとめと評価	各疾患の基礎知識および評価と治療の理解の確認および説明の実施			OT教員	
教科書・参考書	標準作業療法「身体機能作業療法」、標準整形外科学、病気が見えるシリーズ(その都度確認)						
授業に必要な物	PC、プロジェクターなどを準備。実技では動きやすい服装。実技試験時は実習同様のケーシーや靴を着用し、身だしなみを整えること。						
備考							

【科目名】	精神障害作業療法学Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】 木村良輔先生(作業療法士):医療機関にて17年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて11年実務経験				
【講義期間】	2 年次後期		【対象学生】 第 2 学年 作業療法学科				
【時間数】	45 時間 (2時間 23 回)		【時間帯】 9 :00 ~ 12 :10 (他時間割参照)				
授業内容・目標	精神障害領域における作業療法の評価および治療について理解する。						
前提知識	精神医学に関する基礎知識。 前期に学習した精神障害作業療法評価学の内容。						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状および特徴を説明できる。 各疾患に対する作業療法士の役割を説明することができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		95			5	
	実施時期		当科目終了時			授業時	
	補足					積極性・協調性	
	関心・意欲	○	○			○	
	知識・理解	○	○			○	
	思考・推論	○	○			○	
実践・表現	○	○			○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月12日	1	治療構造について	OTの実際・チーム医療等	木村先生
9月12日	2	作業療法各論①	統合失調症の作業療法	木村先生
9月19日	3	作業療法各論②	統合失調症の作業療法	木村先生
9月19日	4	作業療法各論③	物質依存	木村先生
9月26日	5	作業療法各論④	てんかん:部分発作、全般発作、作業療法評価と治療・発作の症状と対応	木村先生
9月26日	6	地域と生活支援	多職種との連携・包括型地域生活支援プログラム(ACT) 地域生活支援のプロセス	木村先生
10月3日	9	器質性精神障害	認知症の特徴と症状・作業療法介入の実際:前頭側頭型認知症・ Alzheimer型認知症・Lewy小体型認知症・脳血管性認知症	木村先生
10月3日	10	神経症圏の作業療法①	身体表現(神経症)性障害の症状と対応・PTSD・パニック障害	木村先生
10月10日	11	神経症圏の作業療法②	解離性(転換性)障害・強迫性障害	木村先生
10月10日	12	気分障害	気分障害:症状と特徴・作業療法	木村先生
10月17日	13	摂食障害	摂食障害:症状と特徴・作業療法	木村先生
10月17日	14	パーソナリティ障害	障害の特徴と作業療法	木村先生
10月24日	15	児童期・老年期の精神障害	各期における精神的問題の特徴と作業療法の支援、老年期うつ	木村先生
10月31日	7	個人・集団について	レクリエーション:企画と実践①	木村先生
10月31日	8	個人・集団について	レクリエーション:企画と実践②	木村先生
11月9日	18	社会生活技能訓練(SST) ①	ロールプレイを通してSSTの技法を学ぶ	沢田
11月9日	19	社会生活技能訓練(SST) ②	ロールプレイを通してSSTの技法を学ぶ	沢田
11月14日	20	国家試験対策①	臨床医学:臨床心理	沢田
11月17日	21	国家試験対策②	臨床医学:精神医学	沢田
11月21日	22	国家試験対策③	疾患別:評価と治療に関する問題	沢田
11月28日	23	国家試験対策④	疾患別:評価と治療に関する問題	沢田
12月5日	16	臨床実習に向けて①	臨床実習の流れとポイント・ケースノート・デイリーノート・レポート項目・ 自己理解	沢田
12月9日	17	臨床実習に向けて②	ケーススタディー	沢田
12月13日	24	まとめと評価	精神障害作業療法の基礎知識の確認。精神障害領域における作業療法の対 象疾患・特徴と対応の理解についての確認。	沢田
教科書 参考書	教科書・・・「精神障害と作業療法 新版」・「作業療法評価学 第3版」 参考書・・・「ひとと作業・作業活動」			
授業に必要な物	PC・プロジェクター(担当講師・教員にその都度確認すること)			
備考				

【科目名】	発達障害作業療法学Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】	道又顕先生(作業療法士):医療機関にて20年実務経験 伊藤香織先生(作業療法士):医療機関にて5年実務経験 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第 2 学年 作業療学科			
【時間数】	30 時間 (2時間 15回)		【時間帯】	13:30 ~ 16: 40 (他時間割参照)			
授業内容・目標	発達障害領域における作業療法の展開や治療を説明できる。						
前提知識	人間発達学・運動学の基礎知識(原始反射、運動発達、認知機能の発達など)。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	各疾患の病態を理解し、障害像を説明できる。 各疾患に対する評価と治療の流れを説明することができる。 各疾患における作業療法士の役割を説明することができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月5日	1	発達過程作業療法学の基礎	発達過程における作業療法の対象疾患について 発達過程作業療法に関連する法規・制度 作業療法の目的と役割と視点について	道又先生
9月5日	2	実践現場と実践課程、地域支援	地域支援システム、ライフサイクルについて 発達領域における作業療法の評価と治療の流れ	道又先生
9月12日	3	新生児疾患	NICU対象児(低体重など)	道又先生
9月12日	4	新生児疾患	NICU対象児(低体重など)	道又先生
9月19日	5	知的障害	知的障害、精神発達遅滞・学習障害の特徴と治療の実際	道又先生
9月19日	6	知的障害	知的障害、精神発達遅滞・学習障害の特徴と治療の実際	道又先生
9月26日	7	神経発達症群/神経発達障害群	ASD・ADHD・SLD・DCDの病態、心理・教育的支援 作業療法評価と実践	道又先生
9月26日	8	神経発達症群/神経発達障害群	ASD・ADHD・SLD・DCDの病態、心理・教育的支援 作業療法評価と実践	道又先生
10月3日	9	発達過程作業療法の実際①	発達過程作業療法の基礎知識の確認。 発達過程における作業療法の対象疾患の特徴と分類の説明。 リハビリテーションの流れと評価治療の関連性について確認。	伊藤先生
10月3日	10	発達過程作業療法の実際②	発達過程作業療法の基礎知識の確認。 発達過程における作業療法の対象疾患の特徴と分類の説明。 リハビリテーションの流れと評価治療の関連性について確認。	伊藤先生
10月6日	11	筋ジストロフィー	筋ジストロフィーの病態および分類、合併症、評価と治療の流れ	川崎
10月12日	12	二分脊椎・その他の疾患	二分脊椎の病態と医学的治療、合併症、評価と治療の流れ その他(強度行動障害、頭部外傷等に伴う高次脳機能障害、 骨関節疾患、内部障害、小児がん)	川崎
10月16日	13	脳性麻痺	脳性麻痺の病態、医学的治療、評価と治療の実際	川崎
10月23日	14	脳性麻痺	脳性麻痺の病態、医学的治療、評価と治療の実際	川崎
10月31日	15	重症心身障害児	重症心身障害の病態、特徴 重傷心身障害の合併症や全体像 ADL支援	川崎
11月7日	16	まとめと評価	発達過程作業療法の基礎知識の確認。 発達過程における作業療法の対象疾患の特徴と分類の説明。 リハビリテーションの流れと評価治療の関連性について確認。	川崎
教科書 参考書	標準作業療法学「発達過程作業療法学」 標準作業療法学「作業療法評価学」			
授業に必要な物	PC, プロジェクター			
備考				

【科目名】	老年期障害作業療法学Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】	橋本 円(作業療法士):医療機関にて14年実務経験 川崎 加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	45時間 (時間 23回)		【時間帯】	13:00 ~ 14:40 (他時間割参照)			
授業内容・目標	老年期の作業療法アプローチについて学び、理解する。						
前提知識	前期の老年期作業療法評価学の内容の理解。						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	老年期障害の作業療法実施時の注意点、リスク管理の把握、介入方法について説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
実践・表現	○	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月1日	1	呼吸器の病態理解①	換気障害の理解	橋本
9月4日	2	呼吸器の病態理解②	I型・2型呼吸不全、急性・慢性呼吸不全	橋本
9月8日	3	呼吸器の病態理解③	換気機能検査(スパイログラム、努力肺活量など)	橋本
9月11日	4	呼吸器の病態理解④	動脈血液ガスの正常値(基準値)と異常値、ボーア(Bohr)効果等の理解、パルスオキシメーターの活用方法等の理解	橋本
9月15日	5	呼吸器の病態理解⑤	呼吸調節とCO2ナルコーシスの理解	橋本
9月20日	6	呼吸器の解剖と病態理解⑥	酸と塩基、pH、アシドーシス、アルカローシス(呼吸性・代謝性)等の理解	橋本
9月29日	7	がんの作業療法	がんの作業療法、介入時のリスク管理。	川崎
10月2日	8	介護予防教室プログラム作成①	介護予防教室の評価復習、プログラム作成	川崎
10月6日	9	介護予防教室プログラム作成②	介護予防教室の評価復習、プログラム作成	川崎
10月10日	10	介護予防教室プログラム作成③	介護予防教室の評価復習、プログラム作成	川崎
10月13日	11	介護予防教室プログラム作成④	介護予防教室プログラム発表	川崎
10月19日	12	リンパ浮腫の作業療法	リンパ浮腫(合併症、スキンケア、リンパドレナージ、多層包帯法、圧迫療法、複合的治療、日常生活指導)。	川崎
10月20日	13	呼吸リハビリテーションの実際	運動療法の構成要素、PEEP、NPPV(CPAPなど)、VAP(VALI)等の理解 排痰療法など	橋本
10月30日	14	起立性低血圧・褥瘡・転倒予防について	起立性低血圧の原因・離床時の注意点。褥瘡の原因、予防策等。転倒と予防。	川崎
11月1日	15	循環器の病態の理解①	虚血性心疾患(狭心症・心疾患)の理解	橋本
11月8日	16	関節拘縮・ROMex	関節拘縮とは?原因と対策。拘縮予防のポジショニング、自主練習。筋緊張との関係。自動運動・他動運動・自己他動運動、上肢・下肢・体幹のROM	川崎
11月9日	17	認知症について	MCI、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症の症状、特徴。HDS-R。	川崎
11月10日	18	循環器の病態の理解②	不整脈の理解	橋本
11月16日	19	心臓のリハビリテーションの実際①	心電図の理解(伝導路との関係)、CTR、心不全の機能分類(NYHA)等の理解	橋本
11月17日	20	認知症作業療法の実践	認知症への対応について。BPSDとその対応。リアリティーオリエンテーション。回想法。環境調整。導入時の注意、作業活動の選択。	川崎
11月22日	21	心臓のリハビリテーションの実際②	心臓リハビリテーションの実際(具体的なリスク管理)	橋本
11月27日	22	認知症と骨折(大腿骨の骨折と術式など)	Garden分類、人工骨頭置換術、CHS、γネイル、術後リハビリテーション	川崎
11月29日	23	認知症とADL(大腿骨の骨折など)	人工骨頭置換術後のADL指導。	川崎
12月8日	24	まとめと評価	各疾患の基礎知識および作業療法の評価と治療の理解の確認および説明の実施	橋本
教科書 参考書	作業療法学全書『高齢期作業療法学』、標準作業療法学『作業療法評価学』 標準作業療法学『身体機能作業療法学』			
授業に必要な物	プロジェクター・PC・その他			
備考	9グループに分かれて介護予防教室参加予定。介護予防教室プログラム作成①～④では介護予防教室で提示予定の内容を検討する。			

【科目名】	高次神経障害作業療法学Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	14:40 ~ 16:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	高次神経障害の特徴と、作業行動に与える影響について学ぶ。高次神経障害の症状に応じた評価法、治療・指導・援助方法について学ぶ。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖・生理学の基礎知識。2年前期に学んだ高次神経障害作業療法治療学の内容。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	神経疾患あるいは脳損傷による注意、記憶、言語、遂行機能、行為、空間認知、社会的行動のメカニズムを正確に把握し、評価・解釈・説明をすることができる。また症状別に治療を説明することができる。脳画像から予測される高次脳機能障害を推測できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	4回目(30)と 科目終了時(70)				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月1日	1	高次脳機能障害(前期の復習)① 注意障害(方向性・全般性)、記憶障害の理解とその検査方法(WEB)	検査方法(BIT、TMTなど)、ADL場面の評価(CBS)、記憶のプロセス、保持時間の分類、記憶障害の分類と検査方法(HDS-R、MMSE、WAIS-R、WAIS-III、三宅式記憶力検査、レイの複雑図形模写など)、コルサコフ症候群	櫻井
9月5日	2	高次脳機能障害(前期の復習)② 失語症、失行、失認の理解とその検査方法	失語症の分類(症状)と、検査方法(SLTA、WABなど)、失行症の理解と標準的な検査方法(SPTAなど)、失行症のADLの障害例、失認症の分類(症状)と検査方法(VPTAなど)、ゲルストマン症候群とバリエーション症候群の理解	櫻井
9月8日	3	高次脳機能障害(前期の復習)③ 遂行機能障害、社会行動障害の理解とその検査方法	概念化とワーキングメモリーについて、ワーキングメモリーの中核、遂行機能の検査方法(WCST、FAB、BADs、ハノイの塔など)、脳損傷後の性格変容の特徴、社会的行動障害の分類、脳の損傷部位から想定される検査方法	櫻井
9月15日	4	まとめと評価①	高次脳機能障害(前期の復習)①～③の内容の小テストを実施。 ※本試験の30点分の加算	櫻井
9月22日	5	高次脳機能障害評価①	検査の目的、方法について(①BADs②リバーミード行動記憶検査③BIT④VPTA⑤HDS-R、ベントン視覚記憶検査⑥FAB、WCST⑦WAISについて)	櫻井
9月25日	6	高次脳機能障害評価②	前回学習した①～⑥の評価について⑥班に分かれて、説明書、検査道具を使用しながら実際の使用の仕方を説明し、発表できるように話し合う。	櫻井
10月2日	7	高次脳機能障害評価③	前回学習した①～⑥の評価について6班に分かれて、発表できるように話し合う。	櫻井
10月17日	8	高次脳機能障害評価④	各班から担当した検査の実施方法について発表する。	櫻井
10月23日	9	高次脳機能障害評価⑤	各班から担当した検査の実施方法について発表する。	櫻井
11月6日	10	高次脳機能障害の具体的介入(直接介入と間接介入)①	記憶障害(内的記憶戦略法、間隔伸張法、誤りなし学習、メモリーノート等外的補助)・注意障害・半側空間無視(プリズム適応療法、感覚刺激入力、代償方法)への介入・生活指導。	櫻井
11月14日	11	高次脳機能障害の具体的介入(直接介入と間接介入)②	失語(純粋失語:運動覚促通法、MOR法)・失行(模倣動作訓練、代償訓練)・失認(物体失認、色彩失認)への介入、生活指導。	櫻井
11月21日	12	高次脳機能障害の具体的介入(直接介入と間接介入)③	遂行機能障害(直接訓練、自己教示、工程分析や簡略化、外的補助)・社会的行動障害(認知行動療法)・地誌的障害(地図上での道順記載)への介入、生活指導。	櫻井
11月30日	13	検査バッテリーの選択とカットオフ値	各検査の目的と意味、どのように考えて検査を導入するか?選択方法を考える。	櫻井
12月5日	14	ケーススタディー	症例から介入方法を考えていく。	櫻井
12月8日	15	ケーススタディー	症例から介入方法を考えていく。	櫻井
12月15日	16	まとめと評価②	各疾患の基礎知識および作業療法の評価と治療の理解の確認および説明の実施	櫻井
教科書 参考書	標準作業療法学「高次脳機能作業療法学」第2版 標準作業療法学「作業療法評価学」			
授業に必要な物	PC、プロジェクターその他			
備考	わからないことがあった場合は、可能な限り早めに質問をし、理解をしながら進めていくよう心掛ける。			

【科目名】	装具活用援助技術	専門分野(1単位)	【講師名】 橋本円(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	2年次 前期		【対象学生】 第2学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)				
授業内容・目標	装具の名称・構造・役割を知る。 装具を活用するための人体の関節構造と運動について総合的に理解する。 スプリントの適応を理解し、適切に作製することができる。						
前提知識	解剖学・運動学の基礎知識						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	人体の構造・運動の基礎的知識が説明できる。 各種装具の適応・名称と目的を理解する。 スプリントの適応を理解し、作製時の留意点を説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○					
実践・表現	○						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月5日	1	総論、肩関節の構造・運動と装具	スプリントと装具・診療点数について・スプリントの目的 肩関節の構造と運動・肩装具の種類	橋本
9月13日	2	肘関節の構造と運動と装具	肘関節の機能・解剖、肘装具の種類	橋本
9月20日	3	手関節・手指の構造と運動と装具①	手指の機能・解剖(皮膚・関節・腱・神経・他) Guyon管・手根管症候群、手指の知覚神経支配域 他	橋本
9月25日	4	手関節・手指の構造と運動と装具②	末梢神経障害の分類とスプリント療法 トーマススプリント・オープンハイマースプリント・ナックルベンダー他	橋本
9月27日	5	腱損傷後の治療と装具①	腱損傷の作業療法の実際(屈筋腱損傷・早期運動療法・固定法) 腱の治癒過程・FDS・FDP・Kleinert法・Duran法・リスク管理 など	橋本
10月4日	6	腱損傷後の治療と装具②	腱損傷の作業療法の実際(伸筋腱損傷) スワンネック変形・ボタン穴変形・槌指・ダイナミックスプリント・アウトリガー	橋本
10月12日	7	上肢解剖まとめ	上肢解剖と装具の復習	橋本
10月18日	8	脊椎の構造と運動と装具	脊柱の彎曲・椎骨の構造と基本的構成、頸椎装具・頸胸椎装具 頸椎カラー・フィラデルフィアカラー・ソーマープレース・モールド式頸椎装具 他	橋本
10月23日	9	股関節・骨盤の構造と運動と装具	股関節・骨盤の構造、股装具の特徴と対象疾患 骨盤帯・股継手・股装具の伸展補助機構 他	橋本
11月2日	10	膝関節・足関節の構造と運動と装具	膝関節の構造・膝装具の特徴と対象疾患、足関節の構造・短下肢装具の種類 金属支柱付き膝装具・プラスチック膝装具・軟性膝装具 他	橋本
11月7日	11	体幹・下肢まとめ	体幹・下肢解剖と装具の復習	橋本
11月15日	12	スプリント製作①	スプリント療法について カックアップスプリント 採寸・型紙作成	橋本
11月28日	13	スプリント製作②	カックアップスプリント作製 モールディング、ストラッピング	橋本
11月28日	14	スプリント製作③	リングスプリントなど	橋本
12月6日	15	総復習	授業内容の復習	橋本
12月19日	16	まとめと評価	人体の構造・運動の基礎的理解の確認 各種装具の適応・名称と目的的理解の確認 スプリントの適応の理解・作製時の留意点の確認	橋本
教科書 参考書	教科書:「リハビリテーション 義肢装具学」・「基礎運動学」・「解剖学」 参考書:「理学療法テキスト 装具学」			
授業に必要な物	PC、プロジェクター。 自助具・スプリント作製に各自タオル準備。その他必要な物は随時連絡とする。			
備考				

【科目名】	臨床実習 I	専門分野 (4単位)	【講師名】 櫻井直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 OT学科全教員				
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】 第2学年 作業療法学科				
【時間数】	160時間		【時間帯】 9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)				
授業内容・目標	指導者の元、基本的作業療法を体験し、評価を中心に実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。						
前提知識	1年次から2年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から2年次までに修得した作業療法評価法及び治療法の知識・技術全般。 1年次から2年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般。						
【実施形態】	講義()	演習()	実習(O)				
到達目標	職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 臨床場面に適応した評価をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 作業療法士としての基礎的な態度、心構えを身につける。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画			
	回数	テーマ	講義内容・キーワード
R6/2/5~ 3/1 4週間 (20日間)	1	臨床実習 I	
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
教科書 参考書	1年次から2年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		
授業に必要な物			
備考	各実習施設において必要な資料を各自準備しておくこと。		